

月潟住民バス便り

月潟地区の公共交通の話題を不定期でお届けしています



住民バス運行
に関する

懇談会を開催しました

11月17日に懇談会を開催しました。会場を白根学習館にして、住民バスを利用して往復しました。

事務局から住民バスの現状についての説明や「しろねカイトタウン」のバス停移設について説明があったあと、意見交換が行われました。

運行協議会の役員を含め13人が参加し、活発に意見を交換しました。



達摩

懇談会では、こんな意見がありました。


住民バスの利用促進のため、シルバーチケットの申請を月潟出張所でもできるようにしてほしい。

住民バスは乗ったことがある人が利用を進めていくことも大切。今回は利用体験になってよかった。



シルバーチケットをご利用ください！

シルバーチケットとは・・・

- 市内にお住まいの65歳以上の方を対象に、市内の一部バスを半額運賃で利用できる制度です。
- 月潟住民バス、南区バスも対象路線です。
- 詳しい対象路線などはこちら ⇒⇒⇒  を確認してください。

月潟出張所でも

登録・更新 ができるようになりました。

登録窓口：区役所地域総務課、月潟出張所
必要なもの：

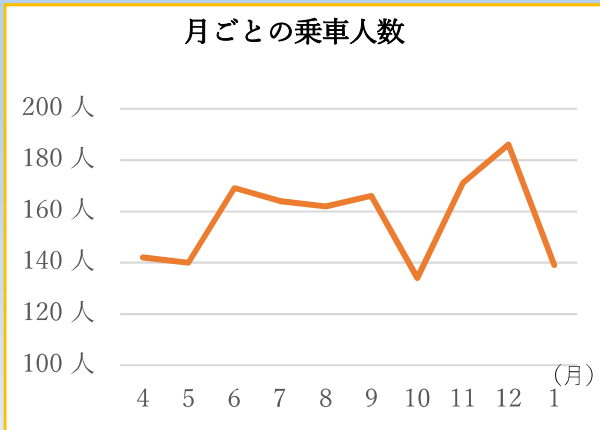
- 本人が手続きする・・・本人の身分証明書
- 代理人が手続きする・・・委任状、本人と手続きをする人の身分証明書

☎ 地域総務課 ☎372-6605

<月潟住民バスに関するお問合せ>

月潟生活交通運行協議会事務局 南区白根1235（南区役所 地域総務課内）☎372-6605

令和4年度月潟住民バス実績(1月まで)



今年度の1月末日までの利用者は、**1,573人**です。このペースでいくと1年間で**1,890人**ほどの利用者となり、令和3年度に比べて**約100人の減少**となります。

今年度の1月末日までの平均収支率は、**約18%**です。令和3年度は19.5%でしたので、このペースのままだと**1.5%の減少**が予想されます。

収支率 = 運賃収入 ÷ 年間運行経費

収支率はバスを運賃収入運行するのにかかる経費を運賃収入で割って出る数字です。

収支率が20%を下回ると、地域の皆さんの負担が発生する場合があります。

持続可能な運行のためには、皆さんの積極的な利用が必要です。



日吉丸

住民バスを支える 運転手さんにインタビュー!!



平日の毎日、休むことなく運行する住民バス。運転手さんたちは、どんな思いで運転しているのでしょうか？



新潟交通観光(株) 運転手 知野 茂さん

Q. 知野さんのお仕事の内容は？

A. 月潟住民バスなどの路線バスの運転を毎日しています。

Q. どのようなことを心掛けてお仕事をしていますか？

A. どうしてもお客さんに負担が掛かる発進、停車がなるべくスムーズにできるようにしています。また、バスは大きいので周りのドライバーの迷惑にならないことを心掛けています。

Q. 月潟住民バスの印象は？

A. 通勤や通学で利用する方が少ないコミュニティバスなのでのんびりとした空気を感じます。

Q. お仕事をしていてうれしいことは？

A. お客さんからの「ありがとね」などの何気ない一言が励みになります。また、お客さん同士がバスの中で楽しそうにコミュニケーションを取っていると、こちらもうれしくなります。

Q. 月潟地域の皆さんにメッセージをお願いします。

A. 皆さんが気持ちよく利用できるように努めておりますので、用事があったら片道だけでもぜひ利用してください。